

1 報告事項に関するご意見・ご質問等

区分	類名	ご意見・ご質問の内容	学校からの回答
全般について	葉久委員	行事日程、教職員の状況、当初予算額など適切に運営されていると思います。	御意見ありがとうございました。 これからも、適切な学校運営に努めて参ります。
	奥田委員	資料を拝読いたしました。いつも丁寧にまとめていただきありがとうございます。	
学生の状況等について	葉久委員	学生の状況で、休学者が11名おられますが、具体的な内容ではなくても、病気によるものか、家庭の事情などかなど、今後可能な範囲で要因を記載いただければと思います。	御意見ありがとうございました。 今後の資料作成において、状況が分かるよう工夫いたします。
受験者の状況について	稲井委員	各科の受験者が年々減少していますが、その要因は何であると考えられていますか。また、対策はどうされていますか。受験者減少の中で、入学者を確保することで、学生の質の問題等はあるのでしょうか。	全国的に少子化により「大学全入」時代といわれており、全国的に看護学校等への入学者全体は減少しているとのことです。ただし、看護大学の入学生については増加傾向にあるとのことです。これらのことが、高校新卒生の受験者の減少につながっていると考えています。 また、完全失業率が2%台、有効求人倍率1.35と他職種への転職が容易なことが、社会人からの転職による受験者数の減少につながっていると考えています。 このため、高校への訪問や就職ガイダンスへ等に参加して当校の魅力を発信しています。これからも機会があれば、積極的に魅力を発信してまいります。 なお、学生の基礎学力については、以前よりバラツキがある状況となっておりますので、丁寧に指導しているところです。
	奥田委員	よい看護人材を育てるにあたり、看護への志向性や資質能力に優れた学生を入学させることが重要だと思っております。県内の18歳人口の減少や高校生の進学先決定時期の前倒し傾向に対して、何か対応策をお考えでしょうか。	
	森口委員	出願者数の減少が続いていることから、看護職を目指す学生の更なる獲得に向けて、高校への働きかけに加え、社会人経験を有する学生に向けた魅力発信についても取り組み等も検討していただきたい。	
その他	森口委員	コロナ禍を経て、オンライン授業や臨地実習に代わる学内演習等においても、学習効果の高い実施方法が定着しつつあると考えるが、今後も状況変化に合わせて柔軟に対応できるよう、備えていただきたい。	御意見ありがとうございました。 今後も効果的な事業実施について、工夫してまいります。